

令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

秋田県

（地域における現状・課題）

当県では、少子化の影響により、部員数や部活動数の減少が進み、従来の枠組みでの活動が難しくなっている状況である。特に、中学校では、従前と比べ単独校での活動が難しくなっており、大会への合同チームによる参加数が増えている。また、県内の中学校教員数の減少により、1人の教員が複数の部活動の顧問を担う状況も生じ、教職員への負担も課題となっている。

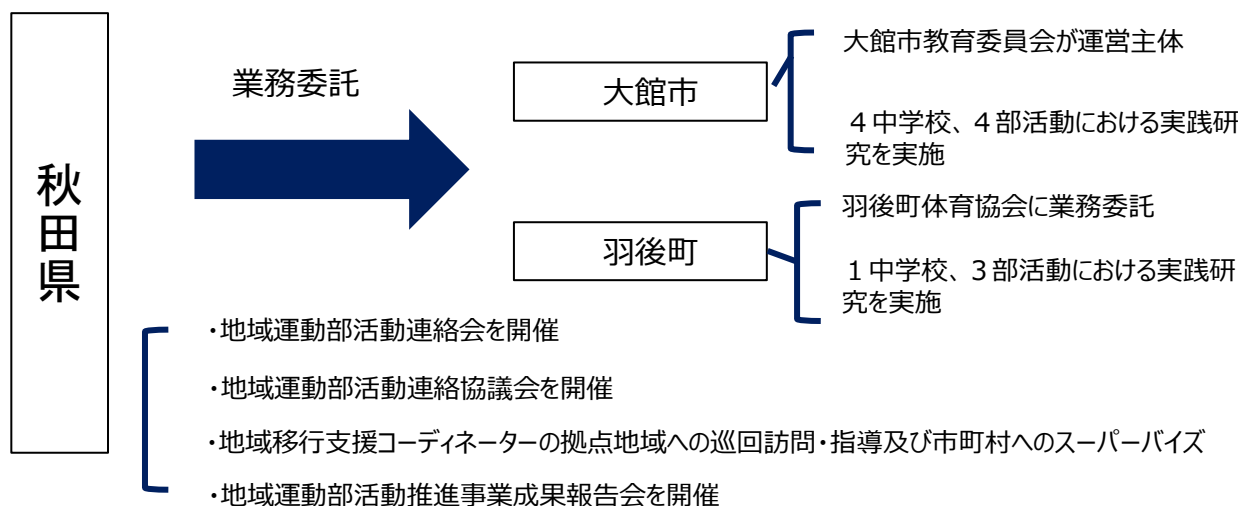
（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

- ・実践研究事業の展開・普及（地域支援コーディネーターの巡回訪問・指導、地域運動部活動成果報告会の開催等）
- ・地域移行に向けた体制整備の推進（地域運動部活動推進事業連絡会及び連絡協議会の立ち上げ・開催、市町村情報交換会の開催、市町村の説明会訪問等）
- ・調査等の実施による実態把握（公立中学校外部指導者数調査、県立中学校（特別支援校含む）における意識調査及び市町村への情報提供等）

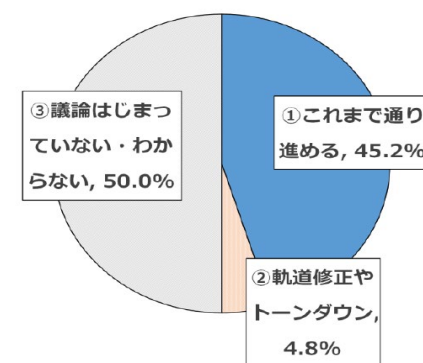
（実践研究の成果）

- ・自治体関係者の地域移行に対する当事者意識の高まり、地域の課題に応じたスポーツ環境整備に対する理解の深まり
- ・拠点地域における生徒及び保護者、学校の理解の深まり、スポーツ団体等の地域関係者の理解の促進

（運営体制図）



【市町村調査】
国の改革集中期間への方針変更を踏まえた市町村における今後の地域移行の進め方



令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

羽後町

（地域における現状・課題）

- ・長年継続してきた現在の部活動や大会の形が定着している中で、なぜ今、地域移行しなければならないのかを学校関係者意外に浸透させることが難しい。
- ・指導者が少ない上に、競技により偏りがある。

（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：羽後町体育協会

活動場所：羽後中学校体育館、三輪中学校体育館等、羽後中学校武道場

指導者：当該競技団体に所属する地域指導者

移動手段：徒歩、自転車、保護者の車

責任主体：羽後町教育委員会

活動種目：男子バスケットボール、ハンドボール、柔道

会費等：なし

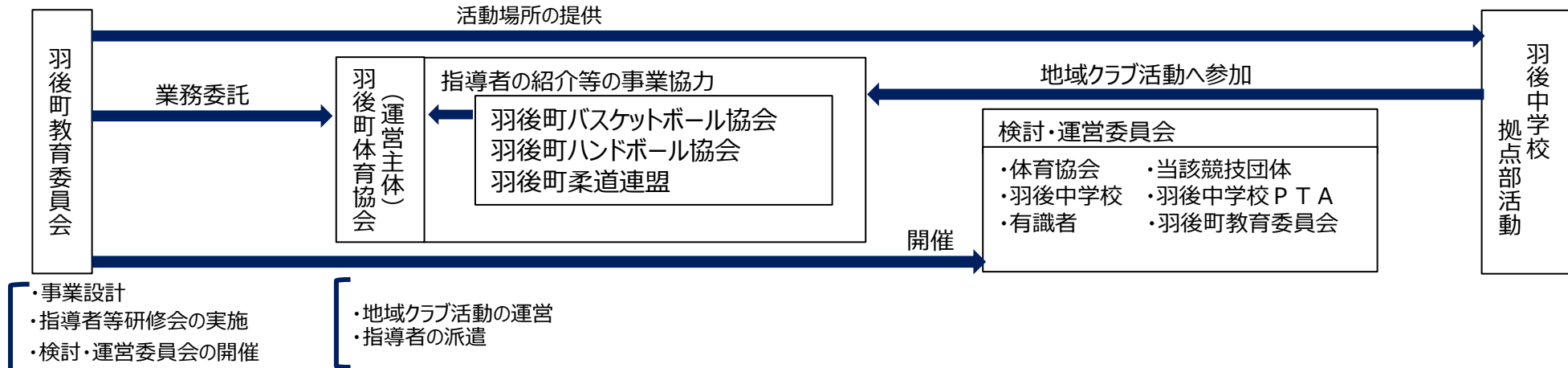
保険：800円（スポーツ安全保険）

* 三輪中学校はH28に町内の中学校統合により廃校となった。現在は町中央公民館が管理している。

（実践研究の成果）

- 関係者に部活動を地域移行する必要性について周知ができたこと
- 地域の人材や団体、練習会場など、人的、物的資源を確認できたこと
- 検討・運営委員会を中心とする、地域部活動の運営体制の大枠が確立できたこと
- 地域と学校の協働により、生徒を育成することができたこと

（運営体制図）



令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

大館市

（地域における現状・課題）

- ・競技者や指導者としての経験が少ない教員が主担当になっている教員の割合が全体の57%である。
- ・指導に不安を抱えている教員がいるとともに、専門的な技術指導を受けられない生徒もいることが課題となっている。
- ・学校によっては部活動単位で外部コーチや部活動指導員（令和2年度より）を配置して対応している。

（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：大館市教育委員会／市スポーツ協会

活動場所：第一中学校、大館桂桜高校／東中学校／北秋田市民プール
北陽中学校／成章中学校グラウンド

指導者：地域指導者、スポーツ少年団指導員

移動手段：徒歩、自転車、保護者の送迎

責任主体：スポーツ少年団、地域指導者

活動種目：柔道、陸上、水泳、卓球

会費等：100円

保険：800円（スポーツ安全協会）

（実践研究の成果）

- ・生徒は、より専門的な指導を受けることができた。
- ・指導経験のない部活動担当者の心理的負担が軽減された。
- ・事務局設立に向け、市スポーツ協会と方向性を共にすることができた。
- ・運動部活動の地域移行に向けて、地域の実情や今後の課題、検討事項等について共有することができた。

（運営体制図）

